

地域資源等を活用した 科学技術イノベーションの実現

文部科学省
平成25年4月

地域資源等を活用した科学技術イノベーションの実現

課題

- 少子高齢化や長期的な経済停滞、新興国の台頭などの要因により、**地域経済の疲弊や国際競争力が低下**
- 研究活動が**既存分野領域に固定される傾向**で、革新的・破壊的イノベーションにつながらない。従来の産業構造の延長線上で考えているため、**産業構造とその変化へのミスマッチ**

方向性

- ◎ 個別の分野・地域に限定せず、**グローバルな視点**で取り組む必要
- ◎ 地域資源等を活用し、近隣地域の**大学・公的研究機関・産業界等**が連携・研究開発に取り組む「**場の構築**」が必要
- ◎ 大学の技術移転の媒介となる研究者について、地域の産業界とアカデミア間での**流動性の増加**が必要

具体的方策

革新的な科学技術イノベーション

将来の**社会ビジョンの実現**に向けて、産学が一つ屋根の下で総力を結集し、企業が事業化をリードする、世界と戦える“**センター・オブ・イノベーション(COI)**”を構築・運営。

基礎研究段階から実用化を目指し、産学により研究開発を集中的に実施。

【10年後の社会ビジョン】

人を変える

少子高齢化先進国としての持続性確保：
Smart Life Care, Ageless Society

社会を変える

豊かな生活環境の構築
(**繁栄し、尊敬される国へ**): **Smart Japan**

活気ある持続可能な
(**Active Sustainability**) **社会の構築**

自律的な地域イノベーション

科学技術の多様化、地域経済の発展を目指し、**地域イノベーション創出に向けた地域主導の優れた構想**を、基礎研究段階から事業化に至るまで、**連続的に支援**出来るシステムの構築。

地域資源等を活用した取組の例



産学頭脳循環・人材育成等【検討中】

地域企業等の研究開発力を高め、次世代の日本の基幹企業へと成長させるため、**大学等の若手研究者を地域の研究開発型中堅企業等に派遣する産学頭脳循環**の構築。

